

1. 応募記載内容

応募フォームに記載いただく内容は以下の通りです。

現場実証にあたっては「該当」となる項目について、応募様式の内容を確認し、必要に応じて、別途ヒアリングや協議を行ったうえで実施可否を決定いたします。

表 1 応募記載内容一覧

項目		詳細	現場実証確認項目
提案者の情報	1 名称（企業・団体名等）	技術提供に関するアイデア、技術・製品・サービス等を自ら有する企業、団体またはグループ名を記載してください。個人の場合は「個人」としてください。	—
	2 担当者所属部署		—
	3 担当者役職		
	4 担当者名		—
	5 担当者メールアドレス		—
	6 担当者電話番号		—
技術情報	7 分野	対象の技術情報がどの分野に該当するか選択してください。（複数選択可）	—
	8, 9, 10 提供依頼内容	対象となる提供依頼内容を選択してください。（複数選択可）	該当
	11 技術レベル	提供技術の現在の状況について選択してください。（開発研究段階の場合は、製品化・サービス提供を目標としている年数を含む）	該当
	12 技術タイトル	提供技術情報の内容がわかるようなタイトルを簡潔に記載してください。	—
	13 提案技術の概要	提案技術がどのようなものか記載してください。（提案技術により期待される効果や問題点など、既存技術との違い等）また、提案技術がNETISやその他新技術等として登録されている場合、登録番号等を記載してください。	該当
現場実証	14 現場実証参加の有無と希望時期	現場実証の参加可否を選択してください。（参加を希望する場合は時期も含む）	該当
	15 現場実証を希望する詳細時期と理由	現場実証を行うにあたって希望する詳細時期と理由があれば記載してください。	該当
	16 現場実証に必要な条件	現場実証を行うにあたって必要な基本条件を選択してください。（複数回答可）	該当
	17 現場実証可能箇所	荒川下流河川管内で現場実証が可能と考えられる場所（距離標や地先名など）を記載してください。	—
その他	18 情報公開の可否	事務局以外への情報公開が可能であるか選択してください。	—
	19 情報公開の可否理由	事務局以外への情報公開が不可である場合は理由を可能な範囲で記載してください。	—
	20 追加資料の提出について	「13. 提案技術の概要」に記載の追加資料の提出有無・方法について選択してください。	—
	21 1～20の入力内容をご確認ください	1～20の内容を確認後、以下のチェックボタン、「送信」を押してください。 「送信」ボタンを押すと入力内容が送信されます。 ※最終確認画面はございませんのでご注意ください。	—

2. 応募フォーム記入例

応募フォームの記入例を次頁に記します。

【応募フォーム記入例】

【荒川下流河川事務所】令和6年度 SRSの実現に向けた河川管理業務の高度化・効率化に資する技術情報提供依頼(RFI) 応募フォーム

こちらは国土交通省 関東地方整備局 荒川下流河川事務所が行う「令和6年度 SRSの実現に向けた河川管理業務の高度化・効率化に資する技術情報提供依頼(RFI)」の応募フォームです。

* 必須

1. 名称（企業・団体名等）*

技術提供に関するアイデア、技術・製品・サービス等を自ら有する企業、団体またはグループ名を記載してください。個人の場合は「個人」としてください。

〇〇〇〇株式会社

2. 担当者所属部署

河川部

3. 担当者役職

回答を入力してください

4. 担当者名*

回答を入力してください

5. 担当者メールアドレス*

〇〇〇〇@〇〇.co.jp

6. 担当者電話番号

0312345678

7. 分野*

対象の技術情報がどの分野に該当するか選択してください。（複数選択可）
※分野の詳細は「資料1 技術情報提供依頼書(RFI)」のP6~8に記載されています。

☒ 分野1：河川巡視

☒ 分野2：点検

☐ 分野3：除草(集草等処理を含む)

8. 提供依頼内容（分野１：河川巡視を選択した方へ）

対象となる提供依頼内容を選択してください。（複数選択可）
選択項目に該当しない技術である場合には、「その他」を選択し、技術について簡潔に記載してください。

- ☐ ①既存のCCTVによる画像や映像を活用した自動河川巡視技術
- ☒ ②ドローン等を自動航行や遠隔操作して現場に向かわずとも巡視作業が行える技術
- ☐ ③護岸や水際部などの危険箇所や不可視部分を確認できる技術
- ☐ ④不法投棄やホームレス住居などの違法・迷惑行為を効率的に発見・確認できる技術
- ☐ ⑤自動走行ロボット等を活用した自動河川巡視技術
- ☐ ⑥専門的な知識が無くても河川巡視を行うことができる技術
- ☐ その他

その他を選択した場合は下記のように記載してください

☒ ○○を○○して○○することができる技術

9. 提供依頼内容（分野２：点検を選択した方へ）

対象となる提供依頼内容を選択してください。（複数選択可）
選択項目に該当しない技術である場合には、「その他」を選択し、技術について簡潔に記載してください。

- ☐ ①小断面カルバートなどの目視が難しい狭窄部や水面下の状況を確認できる技術
- ☐ ②既存のCCTVによる画像や映像を活用した自動点検技術
- ☐ ③衛星画像などを用いて河道内樹木や土砂堆積等の河道内状況を把握する技術
- ☒ ④河床変動の把握やレーザー測量成果の補正など水中形状の把握する技術
- ☐ ⑤AR技術やAI画像解析などを用いて変状箇所の確認や評価が簡単に行える技術
- ☐ ⑥専門的な知識が無くても点検を行うことができる技術
- ☐ その他

その他を選択した場合は下記のように記載してください

☒ ○○を○○して○○することができる技術

10. 提供依頼内容（分野３：除草（集草等処理含む）を選択した方へ）

対象となる提供依頼内容を選択してください。（複数選択可）
選択項目に該当しない技術である場合には、「その他」を選択し、技術について簡潔に記載してください。

- ☐ ①ICT施工のように除草作業と出来形管理が同時・自動で行える技術
- ☐ ②除草機械を複数台操作することで安全性を確認しながらより効率化が図れる技術
- ☐ ③除草機械の自動巡行や現場に向かわずとも安全に遠隔操作が行える技術
- ☐ ④集草作業を効率化・自動化できる技術
- ☐ その他

その他を選択した場合は下記のように記載してください

☒ ○○を○○して○○することができる技術

11. 技術レベル*

提供技術の現在の状況について選択してください。（開発研究段階の場合は、製品化・サービス提供を目標としている年数を含む）

市販化済み・サービス提供中

選択肢

- ・市販化済み・サービス提供中
- ・開発研究中（1年後の製品化・サービス提供を目標としている）
- ・開発研究中（2年後の製品化・サービス提供を目標としている）
- ・開発研究中（3年後の製品化・サービス提供を目標としている）
- ・開発研究中（4年後の製品化・サービス提供を目標としている）
- ・開発研究中（5年後の製品化・サービス提供を目標としている）
- ・製品化・サービス提供の目標が5年以上
- ・製品化・サービス提供の目標年次が定まっていない
- ・製品化・サービス提供の見通しが立っていない

12. 技術タイトル *

提供技術情報の内容がわかるようなタイトルを簡潔に記載してください。（50文字程度）

【例】〇〇km離れた場所から操作可能な超遠隔操作ドローン「〇〇〇〇」

〇〇km離れた場所から操作可能な超遠隔操作ドローン「〇〇〇〇」

何ができる機器やシステムなのか記載してください
〇〇ができる〇〇「〇〇(技術名称等)」

13. 提案技術の概要 *

提案技術がどのようなものか記載してください。（提案技術により期待される効果や問題点など、既存技術との違い等）
また、提案技術がNETISやその他新技術等として登録されている場合、登録番号等を記載してください。

記載例は以下のURLより確認ください。

URL : https://www.ktr.mlit.go.jp/ktr_content/content/000898183.pdf

パンフレットなどの資料がある場合には、＜追加資料提出先＞にアップロードしてください。

＜追加資料提出先＞

<https://pckk.ent.box.com/f/420e0bafa3d94a83aed5934aa8f11384>

※提出する資料のファイル名は、「省略した技術タイトル_会社名_日付_通し番号」を記載してください。（例：超遠隔ドローン
〇〇_〇〇(株)_20241118_01）

※資料提出には、boxのファイルリンク機能を利用しています。boxを利用できない場合は、下記メール宛に資料を送付ください。
arakawakaryuu_dx（アットマーク）tk.pacific.co.jp

- ①

本技術は〇〇km離れた箇所からでもドローンを操作でき、遠隔地の撮影・リアルタイム伝送を行う技術である。
従来は、巡視員が現場で直接目視による作業を行っていたが、本技術により作業員数の減少・効率化が図れる。また、機器の取替えによって撮影だけでなくレーザー測量も可能である。
- ②

【主な特徴】 〇〇km離れた場所でも操作が可能・最大〇〇分、〇〇kmの航行が可能である・映像精度〇〇fps・画像精度〇〇dpi
【期待される効果】 作業員数の減少・効率化：従来〇人/回→本技術〇人/回
【問題点(デメリット)】 リアルタイム伝送においてはタイムラグが生じる・精度検証が十分にできていない・安全面から現地に監視員が必要(〇人)
- ③

【NETIS登録番号】 〇〇〇〇〇
- ④

【技術資料】 <http://〇〇〇〇>

- ①提案技術がどのような機器を使ってどのようなことを行うものなのか記載してください
従来ではどのように手法で、提案技術によって何が変わるのか記載してください
- ②技術の特徴や期待される効果、問題点(デメリット)などを記載してください
- ③NETISやその他新技術に登録されている場合は、登録番号等を記載してください
- ④パンフレット等がHPなどに掲載されている場合はURLを記載してください

＜追加資料提出先＞画面

URL : <https://pckk.ent.box.com/f/420e0bafa3d94a83aed5934aa8f11384>

ファイルの送信

ファイル名は「日付_名称」としてください。（個人の場合は担当者名を記載してください。）
【例】 20241118_株式会社〇〇〇〇

ファイルのアップロード *



ファイルをドラッグアンドドロップ

ファイルの選択

送信

パンフレットなどの追加資料を提出する場合は左記画面にファイルをアップロードしてください

ファイル名は「省略した技術タイトル_会社名_日付_通し番号」としてください（例：超遠隔ドローン〇〇_〇〇(株)_20241118_01）
個人の場合は会社名に担当者名を記載してください

動画などもアップデート可能です

複数のデータがある場合は一つのファイルにまとめてからアップデートしてください

【応募フォーム記入例】

14. 現場実証参加の有無と希望時期 *

現場実証の参加可否を選択してください。(参加を希望する場合は時期も含む)

希望する（2025年2月～3月）

選 択 肢

- ・希望しない
- ・希望する (2025年2月~3月)
- ・希望する (2025年4月以降)

15. 現場実証を希望する詳細時期と理由

現場実証を行うにあたって希望する詳細時期と理由があれば記載してください。

【例】河川区域内の状況を把握するため、植物が繁茂していない冬場(11月～12月)を希望します。

時期は問いませんが、経過観察が必要であるため〇日以上を希望します。

悪天候下での効果を確認したいため、5月～6月を希望します。

河川区域内の状況を把握するため、植物が繁茂していない冬場(2月)を希望します。

【例】を参考に、技術の効果を確認するために適する時期と理由を記載してください

16. 現場実証に必要な条件

現場実証を行うにあたって必要な基本条件を選択してください。（複数回答可）

- ☐
- 堤防（天端）

- ☐
- 堤防（法面）

- ☒ 高水敷

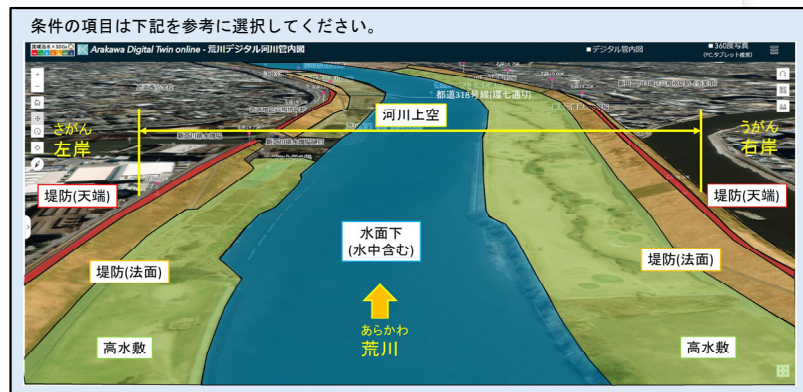
- ☐
- 水面下（水中含む）

- ☒ 河川上空

- ☐
- 構造物周辺

- ☐
- 構造物内部

現場実証を行う条件を選択してください。
ドローン離発着所として「高水敷」
ドローン航行場所として「河川上空」など



17. 現場実証可能箇所

荒川下流河川事務所管内で現場実証が可能と考えられる場所(距離標や地先名など)を記載してください。

※荒川下流河川事務所では、管内の情報を3Dマップで確認できる荒川デジタル河川管内図を公開しております。

河川の距離標や河川区域、占用区域等の確認もできますので、現場実証に適する場所を選定するのに活用ください。

占有区域である場合には占有者のルールに従うとともに、占有者との調整が必要となります。

< 荒川デジタル河川管内図URL >

<https://www.ktr.mlit.go.jp/arage/arage01048.html>

【例】右岸○○k、○○水門周辺、○○区○○地先 など

右岸〇〇k (〇〇区〇〇地先)

荒川デジタル河川管内図を参考に現場実証に適する箇所を記載してください



【応募フォーム記入例】

18. 情報公開の可否 *

事務局以外への情報公開が可能であるか選択してください。

- ☒ 情報公開 可
- ☐ 情報公開 不可

19. 情報公開の可否理由（18.情報公開の可否で「不可」を選択された方へ）

事務局以外への情報公開が不可である場合は理由を可能な範囲で記載してください。

【例】特許申請中のため、研究開発中のため など

特許申請中のため

情報公開が難しい場合は【例】を参考に可能な範囲で理由を記載してください

20. 追加資料の提出について *

「13.提案技術の概要」に記載の追加資料の提出有無・方法について選択してください。

- ☒ 追加資料を提出する（＜追加資料提出先＞へアップロード）
- ☐ 追加資料を提出する（メールでの送付）
- ☐ 追加資料を提出しない

追加資料の提出有無・方法を選択してください

追加資料を提出する場合はアップロードもしくは添付メールをお送りください

21. 1～20の入力内容をご確認ください *

1～20の内容を確認後、以下のチェックボタン、「送信」を押してください。

「送信」ボタンを押すと入力内容が送信されます。

※最終確認画面はございませんのでご注意ください。

- ☒ 確認しました

送信

1～20の入力内容を確認したら ☒ を押して、 を押してください

 Microsoft 365

このコンテンツはフォームの所有者が作成したものです。送信したデータはフォームの所有者に送信されます。Microsoft は、このフォームの所有者を含むお客様のプライバシーやセキュリティの取り扱いに関して一切の責任を負いません。パスワードを記載しないでください。

Microsoft Forms | AI を活用したアンケート、クイズ、投票 [独自のフォームの作成](#)

このフォームの所有者は、応答データの使用方法についてのプライバシーに関する声明を提供していません。個人情報や機密情報を記載しないでください。 | 利用規約